

常磐文藝

俳句
 磐城好間村 金成上鶴
 草むらの十九夜堂や野菊
 咲く
 咲く 水車の土堤や野菊
 咲く
 水揚げる鐵管白し野菊路
 枯木積む小屋のほとりや
 白野菊
 郵便夫急ぐあたりや野菊
 咲く
 百舌の鳴く崖下走る炭車
 かな
 百舌鳴きて川風寒し漁り
 舟
 暮せまる森の墓所や百舌
 の聲
 寒き朝寝床に聞きし百舌
 の聲
 礦山の暮るゝ氣笛や百舌
 のなく

正札堂の

既製洋服は
 ▼技術……飽くまで入念に
 ▼品質……飽くまで優良に
 ▼価格……飽くまで低廉に
 各學生用洋服大勉強
正札堂洋服店
 平町四丁目停車場通
 電話呼出二三四番

☑良品廉賣に勝る商略なし☑
 磐城セメント會社特約店
 和洋銅鐵
 金物問屋
 釜屋商店
 磐城平町五丁目電話二九三九番

齒科平野森會齒科醫院

吳服類は總べて
 安く良くば 龜の標語です
 必らず御満足して戴ける確信です
 最近の當店へぜひお運びを願ひます！
中野吳服店
 平町三丁目(電話六七七番)

家賃
 柳町 一圓七
 住宅 一圓二
 向宅 全
加藤營業所
 平町白銀町電話三二二番

冬服新荷着
 御氣に召す洋服が
 澤山揃ひました
 紺黒サージンスコ
 ツチメルトン三ツ組
 其他 立エリ上下
 學生服豊富
なかや洋服店
 磐城平町二丁目
 電話二〇三番

用粧化オ
 驗石ニクカ
 鏡十個覽
ツルヤ
 平町四丁目
 電話百四十

看護婦派出
 の求めに應ず
平看護婦會
 平町南町
 電話三〇七番

逸獨 高級眼鏡
 (メニスカス) 問「メニスレ」ズを何ん
 で皆さんが お好みにな
 るのです
 答「掛け心地
 が良くて眼
 や脳へは絶
 對弊害がな
 く晴々する
 からです」
 平町一丁目
常盤屋時計店
 電話三三九番
 弊店眼鏡部は各國品多敷取揃へ
 電力應用で速時調整します

柏傳の
全刺子染料
柏屋染物店

瓦斯コークス
 スヤキコンロ
佐藤鐵工所
 コークス部
 平町月見町電話三六二

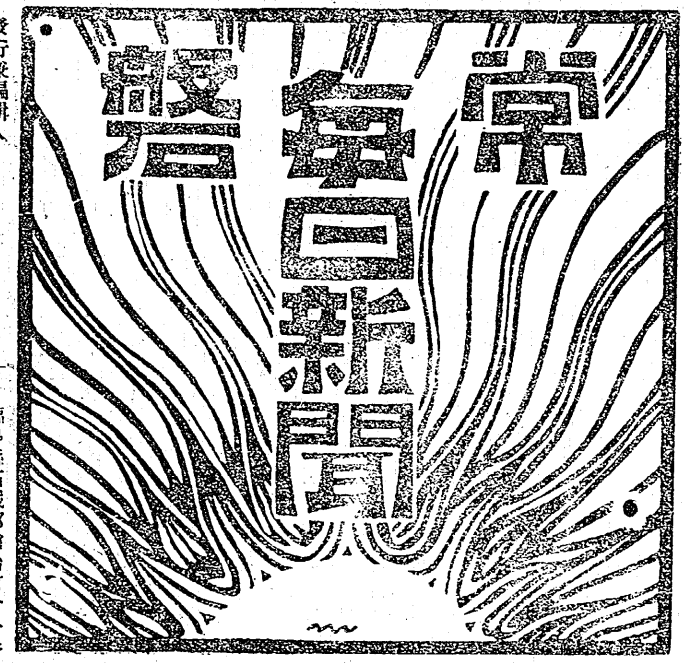


一度御試用を乞ふ

價定 壹圓五十錢

目丁三町平城磐
堂地天

サ
 ク
 良くて安いのは「弊舗の萬言よりも來客の一言に有り」



發行兼編輯人 川崎文治
 福島縣石城郡磐城町十一番地
 印刷所 本社専屬磐陽社

定一部金貳錢 廣告五號十二休 日曜大發 福島石城郡平町長橋町三五
 價 郵稅五厘 料 字詰一行 五十錢 日刊 祝日ノ翌發行所 常磐毎日新聞社
 電話六三〇番

刊夕日十月十

常磐毎日新聞
 床屋の五千圓
 仙台遞信局寄贈の郵
 便貯金獎勵資料より

(一)
 或時床屋の主人に貯金をす
 めたら、「貯金でか、そ
 りや——あなたの方の様に、
 月給などを取る方の云ふ事
 で、私等の様に挾月の先で
 チョキ〜やつて五錢や拾
 錢の端金を儲くる身では貯
 金なんぞは出来やしません
 私等が貯金でも爲ようもの
 なら、今日の日から食ふ事
 が出来なくなりませう。女房
 や子供は飢えて仕舞います

「ハイ拾貳錢づゝ戴きます」
 「高いね——己れはモ一此
 處へは來まい。これから拾
 錢で摘む床屋を探して其處
 へ行かふ。」「そりや——且
 那いけませんよ。」「グツテ
 仕方がないぢやないか。此
 處へ來れば拾貳錢づゝ取ら
 れるじ他處へ行けば拾錢で
 濟む。己れは間で貳錢儲か
 る。御前は貯金が嫌ひだ

云ふが己れは貯金が大好き
 だから貳錢づゝ貯金を爲よ
 うと思ふ。」「そりや旦那
 なたにも不似合な爲さりか
 たです。長い間私の床で摘
 んだあなたが今更タツタ貳
 錢の爲に、床替をなさるん
 ですか。よう御座います。
 そんなら斯うしましよ他
 の床屋が拾錢で摘であげま
 すなら。私の家でも拾錢に
 値下をします。どうか他へ
 行かずに、相變らず來て下
 さらんか。」「併し御前の家
 では値下をしたならば女房
 や子供が飢えて仕舞う。」
 「ナ——あなたそんな事は有
 りやしません。」「でも御
 前は今云つたぢやないか」

体育の心的効果を 科學的に研究する

磐中の新しいこころみ

磐城中學校では體育運動の精神を鍛練し修養に資する心理學的生理學的根據を科學的に研究調査する事になつた即ち

筋肉を

解剖學者は運動機管なりといふが併し精神生理學から見れば筋肉は精神の表現機管なのである、我々の精神は表現する事に依つて始めて完成するのであつて若し精神の働きが起つても肉體的に表現せぬ時はその

精神の

力は頗る弱いものである従つて精神の表現を完全に爲す爲めには其表現機管たる筋肉を養ひ良習慣を付けぬならば正しい精神は決して實現するものではない、不良

少年や

敗徳の擧止動作の筋肉を驗する時は其の働きが正確でなく其の調和がとれてゐない、そして概して筋肉も弱く而して此の筋肉の修練に依つて養はれる特に主なる徳性は筋肉徳性と名づけられ忍耐果斷

敢行等

が其れである併し是等體育運動が精神を養ふ効果を強調して體育運動を鼓吹する爲めには此効果を實際に科學的に研究し調査して實證する必要があるから一定数の生徒に就

級に關する件外米、台鮮米鑑別研究の件、新古米混合に關する件等であつたが石城郡は炭礦を有する關係上これ等に對し特に嚴重な取締を勵行する事となつた

常磐地方各炭礦の 出炭の制限は困難

六十一萬噸の生産過剰 炭價の見込立たず

財界の壓迫を受け打續ける不況に喘ぎつゝ、辛くも今日迄支へて來た常磐炭礦は需要期前に控へた此機會に於て何んとかして幾分でも現在の苦境より脱したい共通的心理から

漸次貨車

の配給を増し極度の緊張裡に能ふ限りの出炭に努めてゐる而も隅田川其他需要地に散在してゐる貯炭は未だ二百六十萬噸を越す昨年の當期に比し實に六十一萬噸の生産過剰である云ふから果して彼等の

希望する

標準價格迄漕ぎつけるかどうかそこで過般開かれた各炭礦役員會議の席上に於ては之が善



栗洋羹の製法

まづ寒天一本を洗ひ、二三時間湯の中に浸し柔かになつた時水を絞つて細く切り、鍋に入れて水二合位と供に能く煮て後、白ザラメ

貧困者救助

一家路頭に迷ふ 石城郡内郷村大字宮字瀧菓

糖百四十匁を入れ、杓子で徐々にかきまはし、その吹き出るを待つて毛ふるいにかけてこして塵埃を除くのです。漉汁は前の鍋に入れ再び煮沸し、栗のこしたものを百二十匁と白小豆漉餡四十匁とを入れて、絶えずかきまわし約四十分ほど煮た時、更に少量のうとん粉

赤堀氏入選

地に立ちて

平町鍛冶町國府田直良氏の令弟彫刻家赤堀信平氏は復又同氏製作に係る六尺大の木彫「地に立ちて」が帝展鑑査に入選した

湯本違反事件

昨夜執行さる

收監者三名

石城郡湯本町に於ける區會議員選舉違反事件は益々擴大し連署者は判檢事の自宅搜索を受けるに至つたが區會議員鈴木文五郎及び選舉に際し同人の參謀であつた宮本政藏外一名は昨夜深更に及ぶ迄宇野野豫審判事の嚴重な取調べを受け午前十二時平刑務所に收監された

常磐片々

平獵友會は明日雨が降らうが降るまいがトントおかまへなく射撃會を催すと、其意氣や壯也

射撃延期せず

平獵友會にては本日午後一時から平署樓上に於て幹部會を開き明日の射撃會に關して協議する處あつたが明日は雨天の場合にも延期せず豫定通り谷川瀨射撃場に於て催すと

攝政宮御一行の... 御晝食は宮内省より

住吉屋支店に仰付かる

大演習より御還啓の攝政宮殿下御一行が来る廿六日午前十一時六分平驛御到着あらせらるべきは既報の如くであるが住吉屋支店は當日の御晝食百廿八人の辨當を宮内省より御用命仰付つた爲め料理人はもとより家族の者一同健康診断を受けて齊戒沐浴光榮ある當日の用意に怠りない

出陳馬匹選抜

石城 郡川前村にては来る廿六日

讀まれる本

讀書の季節

燈下親しむべきの季に入つた、現在平地方讀書界の潮流を瞥すべく市内書店について聞くに讀書界の寵兒は

相變らず

の人氣

吉田綾二郎のものも近來飛ぶやうな賣れ行きを見せて來たとは注意すべきことである、次は教育、經濟、法律の順で夏期には殆ど出なかつた斯うした堅い

射撃延期せず

谷川瀨にて

平獵友會にては本日午後一時から平署樓上に於て幹部會を開き明日の射撃會に關して協議する處あつたが明日は雨天の場合にも延期せず豫定通り谷川瀨射撃場に於て催すと